



2004年 6月～2005年 3月

- ◆ 第32回： 6/8 ワークショップ、ついに3年目に突入！
- ◆ 第33回： 7/3 初公開！新校舎現場内部見学会開催！
- ◆ 第34回： 10/26 4つの部会、新校舎完成に向けて活動着々！
- ◆ 第35回： 11/27 新校舎完成前の最後の見学会！内装はほぼ完成！
- ◆ 第36回： 3/29 記念すべき「新校舎での第1回ワークショップ！」

第32回ワークショップの概要

- 2004年 6月 8日(火) 19:35~21:30
 出席者数：28名 場所：石樽小 家庭科室
 19:35 委員長あいさつ
 19:40 自己紹介(新メンバー7名加入)
 19:50 本日の内容説明(スライドにより説明)
 前年度までのおさらい



- 20:00 新体育館・プールが加わった模型の紹介
 20:10 校舎工事現場の現況紹介



工事現場事務所より撮影

20:20 管理・運営事務局会から

■地域利用の管理区画について

□和室の利用について(資料配布)

- ・喫茶コーナーと和室の間に管理区画を設ける。和室利用を申請した人のみ、その区画を開錠できるようにすることで、図書室への侵入者を特定できるようにする。
 - 昼間の地域利用について
 - ・管理区画を開放し、地域の人々が自由に学校エリアに入れるのは防犯上危険。
 - ・地域施設が学校に併設されている意味を考えると、常時区画では意味がない。地域に開くことで学校を守るという考え方なのでは。
 - ・竣工当初から多くの人が集まるとは思えない。
 - ・竣工当初から全施設開放は無理。例もない。
- 後で、多様な運用が可能となる区画を用意しておく。



ワークショップ、ついに3年目に突入!

ついに3年目に入ったワークショップ。今回は、新たなメンバーを加え、そして地域が望んでできた和室(くつろぎの間)でのスタートとなりました。したえ、さらにパワーアップしました。工事中の新校舎も日に日に姿を変え、コンクリートはほぼ全容をあらわしました。いよいよあと半年で完成です。その工事と並行して今年のワークショップでは、管理・運営に関するルール作りを行わなければなりません。それが今年のワークショップの一番のテーマです。今後、ボランティアを収集し、新たに施設運営委員会を発足し、より多くの地域の人々の参加を募り、より多くの意見により作り上げていきたいと思えます。今年も例年同様、地域みんなで力を合わせてがんばりましょう。

新しいメンバーを加えたワークショップ



上)新しいメンバーを加え、少し緊張の面持ち?

左)新しい模型と完成イメージ図で説明を受ける新メンバーたち

■今後の日程・動き(資料配布)

- ・ボランティアを募集し、施設運営委員会を立ち上げ、8月から利用についての具体的な検討を進めていく。
- ・「新校舎建設だよりNO2」に、ボランティア募集についての説明を載せ、申込書を添付し、ボランティアを募集する。(資料配布)
- ・「新校舎建設だよりNO2」は、各自治会を通して、石樽学区全戸に配布する。

21:30 閉会

ワークショップの新メンバー構成

- 委員長 岡 昭行(育友会歴代会長)
 副委員長 梅山英明(教育委員)
 伊藤文男(町議会議員)
 山岡一男(町議会議員)
 石崎英夫(自治会長)
 諸岡忠昭(自治会長)
 清水一也(自治会長)
NEW 伊藤 悟(自治会長)
NEW 伊藤 隆(前自治会長)
 岡 主幸(前自治会長)
 小林勝利(前自治会長)
 林 邦明(学窓会)
 森 清光(学窓会)
 川内信秀(育友会歴代会長)
 石岡なが子(育友会歴代会長)
 西村幸弘(育友会歴代会長)
 瀬木好博(育友会歴代会長)
 赤坂佳朗(育友会会長)
NEW 岡 正一(育友会副会長)
NEW 川内真由美(育友会母親代表)
NEW 諸岡恵理子(育友会副母親代表)
NEW 長崎十九八(育友会書記)
NEW 三浦世希子(育友会会計)
 小西修市(石樽小学校 校長)
 神谷 宏(石樽小学校 教頭)
 日沖 貴(教育委員会教育長)
 川島 修(教育委員会教育課長)
 小林良典(教育委員会教育課主幹)
 植野 収(石本建築事務所 名古屋支所長)
 奥井康史(石本建築事務所)
 岡野俊二(石本建築事務所)
 小松 尚(名古屋大学大学院助教授)
 計 32名

第33回ワークショップの概要

2004年7月3日(土) 15:00~17:25.

出席者数：26名 場所：新校舎建設現場

15:00 委員長あいさつ

15:05 本日の内容説明

15:10 戸田建設さんの紹介

15:15 現在の工事状況説明

- ・コンクリート工事了
- ・茶畑型の屋根鉄骨工事中

現場見学ルート・注意事項説明

- ・1階：和室、図書室、パソコン室、いしぐれギャラリー等
- ・2階：普通教室、多目的コーナー

15:25 現場見学



16:20 新校舎の色彩計画説明

基本方針

校舎計画で大切にしたい3つの柱を
仕上計画にも反映する

- 1.学習環境の充実：素材独自の色を活かした仕上計画
- 2.生活環境の充実：明るく楽しい色彩環境
- 3.地域性の反映：木材と石材の積極的な利用

<木材の使用例>



①天井材:杉(無垢材) ②壁材:松(無垢材) ③床材:桐(無垢材)

■多目的ホール床の色彩計画検討

壁の木製ルーバー仕上を「木立」にたとえ、壁際の床は木立の足元に広がる「緑」とし、中央は石橋を流れる「水の青」としてタイルカーペットのパターンを検討する。

現場・色彩計画に対する質疑応答

- 建物周囲の地盤より低い位置に建っているように思うが、排水計画は大丈夫か？
→周辺地盤が傾斜しているため、南側道路よりは低くなっているが、東側道路より高い位置に建っており、水が溜まることはない。
- 屋根の素材は何ですか？
→アルミめっき鋼板です。25年保証のある材料で、熱を持ちにくいという特徴があります。
- アルミめっき鋼板は酸性雨にも強いですか？
→・・・調べておきます。

17:15 管理・運営事務局からの報告等

- ボランティア申込み書が多数集まった。7/24に希望者を集めて話し合いを行う。
- 現在の検討項目
地域スペースの電話設置/鍵管理/照明管理/ホームページの立ち上げ等
- 地域への配布資料は、第1金曜日までに自治会長に配布する。

17:25 閉会

工事現場見学写真



上)説明を受けながら、工事中の校舎内を見学する建設委員たち。



右上)中庭の様子。茶畑型の屋根鉄骨が見える。奥は展望台。

右下)現場事務所から見た北側の全景。



第34回ワークショップの概要

2004年 10月 26日 (火) 19:30~21:00.

出席者数：23名 場所：家庭科室

19:30 委員長あいさつ

本日の内容説明

19:35 工事現場写真紹介

・別欄写真参照

■写真を見た感想■

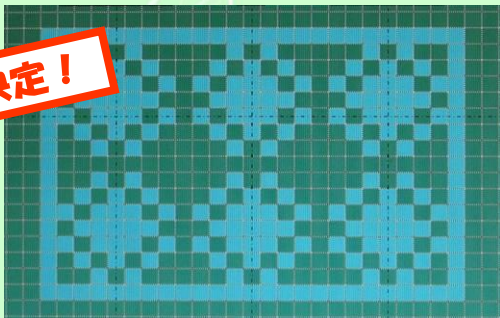
- ・今まで話し合った要望事項が反映されていると感じた。
- ・やはり写真でなく、実際の現場を見たい。

→次回見学会を 11/27 (土) に仮設定！

19:55 多目的ホール床パターン選定

前回のワークショップで決定した多目的ホールの床の色彩の考え方(水と緑を表現)に基づき具体的な床パターンとして6案が提示され、多数決にて、下図の案に決定！

決定！



選定理由1：高いところから見下ろすわけではないので疑った模様にしてもわかりにくい。シンプルのほうがいい。

2：子どもたちの動きの目安となり易い。

20:15 管理運営事務局からの報告

- ・各部会(企画部会・広報部会・環境部会・指導伝承部会)から活動経過の報告
- ・完成式は1/10(月)で決定。
- ・ホームページを作っていく。
- ・今後の日程について



4つの部会、新校舎完成に向けて活動着々！

10/9(土)に予定されていた新校舎現場見学会が台風のため中止となり、残念ながら建設委員の皆さんは新校舎をみるチャンスを逸してしまいました。しかし、その間も管理・運営事務局は4つの部会を発足し、着々と竣工に向けて活動を重ねてきました。完成式の日程も決まり、新校舎に入れる日はすぐそこまで来ています。建設委員・ボランティアの方々には本当にたいへんだと思いますが、まずは完成式の成功に向けて、地域みんなで力を合わせてがんばりましょう。

・他校の取り組み紹介

これまでも何度か紹介された秋津小学校の秋津コミュニティ顧問である岸裕司さんの著書の一部を紹介。

「開放された学校施設は、先生や行政に新たな負担を強いることのないよう、利用者住民で発足させたコミュニティルーム運営委員会による「自主・自律・自己管理」の理念で運営している。」

「新しい学校づくりは、教員だけが担うのではなく、教員の苦境を救いつつ、かつ地域の人びとにもメリットのある学社融合で切り拓くことが大切だと思う。」 など

・各部会の委員を補充する。

先生・建設委員から各1名

・新校舎への引越は12/26(日)。

21:00 閉会

工事現場写真紹介

- 左) 南西側全景
- 左下) 中庭から展望台を見る
- 右下) 天井が特徴的な普通教室



第35回ワークショップの概要

2005年 11月 27日 (土) 13:30~15:00.
 出席者数：19名 場所：新校舎建設現場

- 13:30 委員長あいさつ
 石樽の夢を共有し、実現に向けてがんばりたい。
- 13:35 本日の内容説明
 前回のおさらい
 「第34回わーくしょっぷだより」参照
 工事工程説明
 工事現場見学に当たっての注意事項
- 13:45 工事現場見学
- 15:00 管理運営委員会からの連絡事項



新校舎完成前の最後の見学会！ 内装はほぼ完成！

3年前に発足した石樽小学校建設委員会。これまで建設用地の確保、新しい校舎に対する目標設定および具体的提案、管理・運営の土台づくりなど、石樽の夢の実現に向けて、何度も何度も話し合いを重ね、がんばってきました。その一つ目の目標達成点である校舎完成が、いよいよあと1ヶ月に迫りました。各建設委員は、今まで話し合ったことや自分の思い描いた夢を確認するように、完成間近の新校舎見学を行いました。



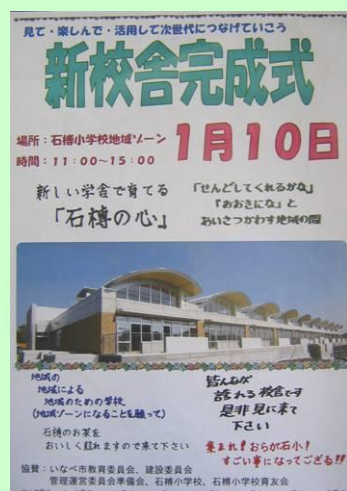
新校舎最後の工事現場見学写真



利用のイメージをしながら
 見学する各委員たち
 上) お話しコーナー
 左) 音楽室



右上) 展望台から中庭を見る
 右中) 展望台から屋上テラスを見る
 右下) 校舎西側遠景



上) 新校舎完成式の手作りポスター

第36回ワークショップの概要

2005年 3月 29日 (火) 19:35~22:05
 出席者数：16名 場所：新校舎大会議室

19:35 委員長あいさつ

本日の内容説明

前回のおさらい
 「第35回わーくしょっぴだより」参照

19:40 新校舎完成までを振り返る (スライド)

- 14年度：ワークショップスタート
 ワークショップ18回開催
 公開ワークショップ2回開催
- 15年度：工事着工
 ワークショップ13回開催
 現場見学会実施
- 16年度：新校舎完成
 ワークショップ4回開催
 「みんないっけ」発刊
 完成式開催

その後 新聞掲載 (建築専門誌)
 竣工記念曲「石榑の里」CD化
 石榑小ホームページ開設

20:00 管理運営委員会からの完成式以降の報告

- ・教育関係者等各団体による施設見学多数あり
- ・施設利用依頼も多数あり
- ・石榑小が文部科学省のミニニキール推進事業の指定受ける
- ・休日にボランティアによる清掃実施
 石狩鍋、おにぎり・大根味噌汁などを楽しむ
- ・子どもたちの一番の人気スポットはすべり台
- ・中学生が帰りによく立ち寄ってくれる

20:20 新設された石榑小ホームページの紹介
 (http://www.cty-net.ne.jp/~isigur-s/)

今後の予定

- ・体育館・プールの工事
- ・旧校舎・体育館・プールの解体工事
- ・校庭の整備計画・工事



記念すべき 「新校舎での第1回ワークショップ！」

新校舎が完成して初めてのワークショップが開かれました。使用開始以来、すでに3ヶ月近く過ぎ、各委員はすっかり施設に馴染んでいるようですが、ワークショップでの新校舎利用は初めてであるということで、改めて感慨深い気持ちでスタートした様子でした。今回のワークショップは、ひとつの大きな節目を迎えたこと、年度の締めくくりであることから、これまでの経緯を振り返り、まだまだ続く今後の活動予定を確認しました。

ようこそ石榑小学校ホームページへ

2005年1月より、地域コミュニティ施設のある新校舎になりました。子どもたちを育てることに、地域のみならずと考えていきたいと思います。このホームページは、石榑子どもと地域のみなさんの絆を深めるためにつくりました。

- 更新履歴
- 2005.3.13 UP
- 2005.3.15 アクセシビリティの設置
- 2005.3.18 青空部の設置に広報、ミニキール普及UP
- 2005.3.21 卒業式準備ページ追加
- 2005.3.24 椅子板の設置 広報19号追加



この4年間、地域のみなさんのお力をお借りして、新校舎建設を進めてきました。まだ、建設継続中です。地域のみなら、たれでも気軽に利用して頂ける学校です。
 ・地域のみなさんと子どもを共守り育てることを考え、あつ活動のみなさんと一緒に創り出せたらと思います。
 ・このホームページも地域のみなさんと共に作っていただけたらと思っています。

幅の下線のある文字をクリックして下さい。

子どもと地域をつなぐお部屋 ・ 掲示板 ・ 通信簿 ・ 行事予定	学校案内 ・ 学校の概要、校歌 ・ アクセス方法 ・ 校舎の今	子どもの様子 ・ 学校生活 ・ 子どもの作品
コミュニティ案内 ・ 施設案内 ・ 利用方法 ・ 使用規定	親友会の部屋 ・ 活動の様子 ・ 行事連絡	新校舎建設の歩み ・ 30数回のワークショップ
子供からのお知らせ ・ 保護者の方へ ・ いろいろなボランティア募集	子どもと地域のリンク集 ・ 子ども学習リンク集 ・ 石榑のホームページ	お問い合わせ ・ お問い合わせ ・ 問い合わせ先 ・ 問い合わせ先 ・ お問い合わせ

石小ホームページ開設

- 20:30 これまでを振り返り、各委員から一人一言
- ・ピオトープづくり等ボランティアの方々と力を合わせてやっていきたい。
 - ・「こんな施設はもったいない」という声があるが、使わないともったいないのだ。
 - ・石榑全体に子どもたちの様子を紹介して欲しい
 - ・体育館・プールも楽しみにしてる。早くグランドオープンさせたい。
 - ・新体育館・プールの工事予定はいつ？
 →新6年生の卒業式に間に合わせる予定。
 - ・清掃活動に参加してわかったが、階段の蹴込部など清掃のしやすさを考慮し形状を検討すべき
 - ・新校舎完成により、年配の方々は、新しい夢が持てた。どんどん参加してもらおうと良い
 - ・新校舎はコンクリート造とは思えない温かみがある。
 - ・学級園の土が風で飛び散り、床タイル目地や溝・池に溜まり掃除が大変。対策を講じるべき
 - ・地域利用を考えると喫煙小屋があるとよい
 →他の町では校内完全禁煙を行っているところが増えている。時代の流れからも喫煙は困難。
 - ・清掃活動に参加したが、窓が多くて窓拭き大変増員必要。子どもには無理。
 - ・ストーブでなくエアコンにして良かったと思う
 →メンテナンスは市で対応していく予定
 - ・地域利用するのに飲酒はダメだろうか？
 →教育の場だし、匂いも残るし良くないのでは。
 - ・新6年生がプールを使えないのは残念。
 →中学になっても使えるように考えれば良い。
 - ・廊下との仕切りのない教室は、子どもたちにとって適度な緊張感となっていいと思う。
 - ・自分がもう一度児童となってここで学びたい。
 - ・校舎が完成し、次は体育館・プールの完成を目標にがんばりたい。
 - ・この校舎でいろんなことが出来そう楽しみ。
 - ・中高生が来れる仕掛けを作って欲しい。
 - ・旧校舎のお葬式をしてあげたい。
 - ・「竜ヶ岳が見える校舎」の実現はワークショップの賜物。
 - ・地域花壇がいつの間にか充実していった。
 - ・ピオトープが是非とも学校に欲しい。

22:05 閉会